

# 口腔維持系診療科 口腔診断科

外来 外来診療棟C 4F 連絡先 022-717-8391(外来)



科長  
高橋 哲 兼任教授

## 主な対象疾患

- 歯痛 ● 舌痛症 ● 口腔粘膜疾患 ● 味覚障害 ● ドライマウス(口腔乾燥症)

## 診療内容

口腔診断科は、院内・院外からの新来患者の紹介窓口として機能しています。口腔に生じる様々な疾患に対して、医療面接、臨床所見、検査所見をもとに的確な診断を行い、必要に応じ、医科および歯科の専門診療科に患者さんを紹介するとともに、院内・院外と連携した最適な診療に努めております。特に「全身との連関を常に考慮し、口腔疾患の診断を確実に進行」ことを基本理念としています。なぜなら、口腔には約220種類もの疾患が生じると言われており、これらの疾患の多くは口腔そのものに原因がありますが、時に全身疾患の部分症状や随伴症状が口腔に現れる場合があるからです。例えば、白血病による歯肉出血、悪性リンパ腫による歯肉潰瘍、悪性貧血による味覚障害、シェーグレン症候群による口腔乾燥症状、脳腫瘍による歯痛や咬合異常、癌の転移による顎関節症状などがあげられます。さらに現在、我が国では超高齢化に伴い、口腔粘膜に障害をもつ高齢者が急増しています。口腔粘膜の障害は、口内炎、口腔粘膜疾患、ドライマウス、味覚障害として現れ、患者さんのQOLを著しく損ねます。しかしながら我が国では、これらの疾患を的確に診断できる、いわゆる口腔内科の専門医は少ない現状にあります。さらに、近年の画像診断装置の進歩は目を見張るものがあり、全身および口腔疾患に対する適切な画像診断を行うためには高い専門的知識が要求されています。そこで当科では、口腔内科学ならびに歯科放射線学を包括する口腔診断学を体系化し、他の医療機関(大学病院)にはない当院のオリジナルブランドとして、全人的な見地から口腔を包括的に診断・治療を行っています。

## 診療体制

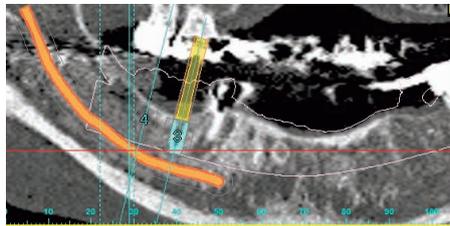
口腔診断科では、1) 外来診療と2) 画像診断を業務として行っています。  
1) 外来診療は、①新来患者さんに対する初期診断およびプライマリーケア、②口腔内科的診断と治療を主に行っています。(口腔診断学会指導医6名、認定医4名、口腔顔面痛学会専門医2名)  
2) 画像診断は、超音波、CT、MRI、PET、シンチグラフィなどの画像診断を行い、画像読影レポートを作成しています。また、顎骨のCT画像をもとに、インプラント埋入シミュレーションも行っています。(歯科放射線学会指導医3名、専門医4名、認定医5名)

## 得意分野

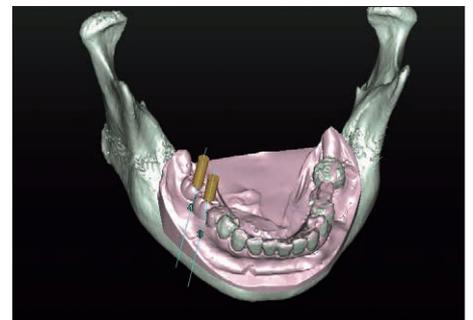
口腔診断科が担当する画像診断及び検査診断は、全身との連関を判断する上で必要不可欠なツールです。最新の機器とハイレベルの技術を駆使して的確な画像検査を行い、育成された専門医が医科診療部門と連携しながら画像診断を行っています。さらに、血液検査、尿検査、細菌検査、生理検査などの全身検索に立脚した口腔疾患の総合的診断を担っており、特に当科のドライマウスや味覚障害に関する診断と治療はマスコミ等で数多く報道され、歯科のみならず医科からの県外を含む紹介患者が急増しています。



症例カンファレンス風景



インプラントシミュレーション画像



CTと歯の模型とのマッチング画像

## ご紹介いただく際の留意事項

- 新患は、月から金曜の午前です。歯科用CT撮影は、月、火、水、金曜の午後です。
- 患者さんの待ち時間短縮のため、当院地域医療連携センターをご活用ください。